

APSOM/PSLX 技術部会議事録

日時：2007年11月20日（火）13：00～18：00

場所：日立電線株式会社 本社 10階会議室

出席者（敬称略・順不同）

西岡靖之（法政大学）、松川信也（日立電線）、児玉公彦（エクサ）、河内伸仁（岩井機械工業）、山本明人（光電製作所）、岡宗秀一（MSTC）、山崎雅史（NTT データセキスイシステムズ）、加藤潤三（NPO 法人データ技術管理委員会）、川内晟宏（プロセス経営研究所）、王喜宏（富士電機システムズ）、杉修（書記・法政大学）11名

配布資料

- [1]第8回 APSOM/PSLX 技術部会 議事録
- [2]第8回 PSLX 技術部会アドホック会議(OASIS PPS-TC 合同)
- [3]PSLX 標準仕様 第3部 業務オブジェクトモデル(第2版) 勧告候補版
- [4]PSLX 標準仕様 第4部 オントログと情報モデル（技術資料） 勧告候補版
- [5]PSLX 標準仕様 第5部 XML スキーマ 勧告候補版
- [6]PSLX 標準仕様 第6部 RDB スキーマ

議事内容

(1)SCF2007 デモ仕様の紹介

- モジュール仕様の定義について今後どのようにしていくのかとの意見があった
- MES のイベントに関しては状態遷移の状況にあるとの意見があった
- メッセージ交換に関して今後、検討していくことになった
- バージョン2が12月に勧告となるとの報告があった
- バージョン3に早急に入るわけではなく、まずはバージョン2の実用化に向けての準備が必要であるとの報告があった

(2)今後の展開に関する意見

- 業務用ソフトに展開するための議論を行う
- テーブルなどを読み書きするビューアの紹介があった
- テーブルを公開するところによって欲しいテーブルなどの要求などが増え、検討課題が増えてくるのではないかと報告があった
- 現場にまずは導入し標準をあげていく必要があるとの意見があった。モデルも大事だが実用化に向けた準備を進めていく必要があるとの意見があった
- APSOM としては GPL で進めていくが、会員企業であれば自社の技術の流出の問題もあるため、非公式で契約を結ぶことが可能であるとの報告があった
- まずは使ってみるといった感覚だが、会社の賛同を得られると思うとの意見があった
- ベンダーが作った、ソフトウェアを PSLX のサイトでオープンソースとして公開していくための議論があった
- 大手企業と中堅企業では仕様を展開する方法が異なるとの意見があった
- オープンソースであるか否か文面を公表する必要があるとの意見があった
- オープンソースのメリットもあるが、生産計画の分野においてはオープンソースが認知されていないため難しいとの見解が得られた

- プロセス系の議論を進めていく
- パート3業務オブジェクトモデルを中心に議論していくことを検討していく
- 導入ガイド、攻略本などを作成してことになった
- 次回にそれぞれ、問題提起を行ってもらおう

(9) その他

次回予定

P S L X技術部会A d h o c会議

「OASIS PPS-TC 第18回 F2F(Face-to-Face) meeting 同時開催」

日時：平成19年12月13日(木) 13:00~18:00

場所：(財)製造科学技術センター 第1会議室

(東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX-TTビル 3階)

A P S O M標準技術委員会／P S L X技術部会

日時：平成20年1月22日(火) 13:00~18:00

場所：(財)製造科学技術センター 第1会議室

(東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX-TTビル 3階)